



2018年5月7日  
株式会社ファンペップ

**AMED「創薬支援推進事業・希少疾病用医薬品指定前実用化支援事業」への採択について**  
－ 抗体誘導ペプチド FPP003 の強直性脊椎炎治療薬開発プロジェクト －

株式会社ファンペップ（本社：大阪府茨木市、代表取締役社長：平井昭光、以下「当社」という。）は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（以下「AMED」という。）の平成30年度創薬支援推進事業・希少疾病用医薬品指定前実用化支援事業に課題名「強直性脊椎炎の治療薬の開発（FPP003）」として採択されましたので、お知らせ致します。

課題名	代表機関名
強直性脊椎炎の治療薬の開発（FPP003）	株式会社ファンペップ

強直性脊椎炎は、青年期に発症する脊椎と仙腸関節を主な病変部位とする原因不明の全身性の慢性炎症性疾患です。病変部位では靭帯と骨との付着部位に炎症・骨化が起こり、疼痛、膨張、運動制限等がみられ、重症例では、体軸関節の強直をきたして日常生活能力の著しい低下をもたらします。

FPP003は、大阪大学大学院医学系研究科との共同研究より当社が研究開発を進めている抗体誘導ペプチドです。当社は、本支援事業への採択により、希少疾病である強直性脊椎炎の治療選択肢となることを目指して研究開発を進めてまいります。

本支援事業は、厚生労働大臣による希少疾病用医薬品指定前の段階の開発を推進するためにその環境整備の一環として開発費用の一部を補助するものです。

交付の手続きが終了次第、平成33年3月31日までが対象期間となり、当社は、本事業に必要な開発費の一部として、年度当たり最大5千万円、3年度で最大1億5千万円の支援を受ける予定です。

本支援事業の詳細は、下記を御参照下さい。

<AMED 創薬支援推進事業・希少疾病用医薬品指定前実用化支援事業ホームページ>  
[https://www.amed.go.jp/program/list/06/03/001\\_03-01.html](https://www.amed.go.jp/program/list/06/03/001_03-01.html)



<参考情報>

**抗体誘導ペプチド**

抗体誘導ペプチドは、標的分子の働きを阻害する抗体を体内で産生させるようにデザインされたペプチド医薬であり、数カ月に一回の投与で抗体を維持し、持続的な薬効を期待できることが特徴です。また、バイオ製造設備への多額の投資が必要な抗体医薬に比べて、安価な代替技術となる可能性もあります。

抗体誘導ペプチドは、感染予防ワクチン等の従来のワクチンと異なり、獲得免疫システムのうち、細胞性免疫（細胞傷害性 T 細胞）を活性化させずに、抗体産生に関連する液性免疫（B 細胞）を選択的に活性化させることが特徴です。これにより、細胞性免疫を活性化することによる副作用（自己免疫反応）を回避し、生活習慣病等の慢性疾患治療薬として実用化することを目指しています。

当社では、抗体産生を選択的に誘導することから、このペプチドを「抗体誘導ペプチド」と呼んでいます。

<お問い合わせ先>

株式会社ファンペップ 管理部

東京オフィス：東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-8-4 第7 瑞穂ビル 3 階

Tel : 03-5315-4200 Fax : 03-5315-4203

E-mail : info-fpp@funpep.co.jp

以上